

カーボン・オフセットから始まる「ゼロカーボンシティ習志野」

6月6日

気候変動への適応に向けて、世界規模で脱炭素化の動きが進んでいます。

習志野市においても、2022年6月に宮本市長自ら「ゼロカーボンシティ習志野」を表明、「習志野市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」が地球温暖化対策推進法第21条第1項に基づく実行計画として策定・実施されているところです。さらに本年2024年度から2年をかけて「習志野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を含む次期「習志野市環境基本計画」の策定及びそれに伴うパブリックコメント等の、市民や市内事業者を巻き込んだ議論・検討が行われる見込みです。よって実運用は2年後からとなりますが、今後官民一体の取り組みが想定されますので、随時注目していきたいところです。

習志野市環境政策課に取材インタビューを行ったところ、**ゼロカーボンシティ実現の取り組みの一つとして、カーボン・オフセット**（日常生活や経済活動において避けることができないCO2等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方（環境省による定義））の考えのもと、2023年3月に**南房総市と森林整備事業に関する協定を締結**、実際に**谷津干潟遊歩道に南房総市産の木材を利用したベンチ**が置かれるようになったということです。





(画像提供 環境政策課)

ちょうど6月8日と9日の2日間は、習志野市制施行70周年・谷津干潟自然観察センター開設30周年「谷津干潟の日フェス」で入場無料となっています。この機会に谷津干潟の自然観察と合わせて、カーボン・オフセットや森林保全への取り組み等にも想いを馳せてみてはいかがでしょうか。

【取材】広報まちかど特派員 ●●●●●●●●